

## 子育てNPO活動、表彰される

- 栃木県経済同友会 社会貢献活動推進委員会、子育てNPO表彰 -

開倫塾

塾長 林 明夫

1. おはようございます。開倫塾塾長の林明夫です。今朝も「開倫塾の時間」をお聴きいただきありがとうございます。

栃木県経済同友会という経済団体があり、私はそこに会員として参加させていただいています。栃木県経済同友会の社会貢献活動推進委員会では、少子化問題の対策に取り組んでいるNPO(民間非営利団体)や市民団体を毎年表彰しています。今年で3年目です。

9月26日(土)に、宇都宮大学の学生会館の2階にある多目的ホールで、表彰する団体をどこにさせていただくか検討するために活動内容の発表会を行いました。私も、委員会の副委員長を務めさせて頂いているため20名の審査員の一人として参加させていただきました。発表会では素晴らしい発表がたくさんありましたので、今日はそのことについてお話をさせていただきます。

2. 栃木県経済同友会は、人口減少社会に対応するために少子化対策をどのように行ったらよいかを前々から検討し、県知事さんに提言するなどしてきました。

その一環として、少子化対策を推進するための活動を行っているNPOや市民団体を支援しようと、助成活動をしています。各団体の活動内容をお聞きし、素晴らしい活動をしているところを表彰し、少ないかもしれませんが金銭的な支援をしています。その活動内容の審査会を、9月26日午後0時40分から5時10分まで長時間にわたって多目的ホールで行いました。

この日は、二次選考会でした。書面で応募していただいた多くの団体の中から一次の書面選考で12団体を予め選びました。書面審査で選ばれた12団体に、各々の活動内容を発表していただいたのです。

3. その12団体は、次の通りです。

(1)「親子サポート『未来』」、(2)「社会福祉法人栃木いのちの電話足利センター」、(3)「NPO法人とちぎ生涯学習研究会」、(4)「特定非営利活動法人チャイルドラインとちぎ」、(5)「ウィ・ネットとちぎ」、(6)「ばんびーに」、(7)「NPO法人蔵の街 たんぼぼの会」、(8)「認定特定非営利活動法人ウイメンズハウスとちぎ」、(9)「アトリエびっき」、(10)「ボランティア てとて」、(11)「特定非営利活動法人チャレンジド・コミュニティ」、(12)「NPO法人SAKU・ら」です。

これら12団体の皆さんは熱心に活動されていて、感動的な発表でした。

4. 以上の12団体がすべて表彰されたのですが、加えて次の6団体が奨励賞団体として表彰されました。

(1)「DV被害者支援ボランティア&ハンド」、(2)「特定非営利活動法人 宇都宮子ども劇場」、

- (3)「とちぎ子育てネットワーク」、(4)「特定非営利活動法人サバイバルネット『ライフ』」、
- (5)「さくらんぼキッズハウス」、(6)「POPO ネット」

5. 審査をさせていただいて感じたことは何か。

- (1)皆さんがとても熱心に NPO の活動をなさっていることです。これらの活動は、もしかしたら行政がやるような活動ではないかと思えます。しかし、実際には行政の目がなかなか届かないので、NPO の方々がそれに代わってやって下さっている活動が多いように感じました。
- (2)それから、社会のために自分たちがこのような活動をしたほうがよいのではないかという思いで一所懸命に活動なさっている方々や団体がたくさんあることを知りました。団体のリーダーの方・運営幹部の方々・会員の方々が手を携えて、手づくりでいろいろな支援活動をしているのは本当に素晴らしいことだと思えます。

6. 活動の内容をいくつか紹介します。

- (1)「栃木いのちの電話足利センター」や「チャイルドライン栃木」などの皆さんは、電話で子供たちの悩みを聞くという活動を熱心にやっています。
- (2)DV(ドメスティック・バイオレンス)、つまり家庭内暴力で悩んでいる方々を支援する団体もいくつかあります。
- (3)子供たちが健やかに育つようにいろいろな催しを運営する団体、放課後に子供たちの学習を支援する団体、子供を初めて持つお父さんやお母さんを励ましたり子育ての仕方を教えたりする団体など、さまざまな子育て支援団体もあります。
- (4)「ボランティア てとて」は、公民館などで会合のある時に、それに参加される方々のお子さんを預かる活動をしています。これにより、小さな子供を持つお母さんもいろいろな活動に参加できるようになります。

7. このように、いろいろな形で社会を底のところから支えるような素晴らしい活動についての発表会が 26 日に行われ、その社会貢献が立派であるとして全部で 18 の団体が、栃木県経済同友会から表彰されました。

8. これからはますます NPO 活動が盛んになると思えます。加えて、社会起業 (Social Entrepreneur ソーシャル・アントロプロナー) つまり社会的な活動を企業活動として行うことも活発になり、NPO 活動とともに社会を支えるようになるかもしれません。アメリカなどでは既に 1000 万人以上の方が、営利活動としてではなく、社会的な事業としてやっています。これも、今後の日本の社会を考える上で大事になってくると思えます。

今日は、少子化対策を推進する NPO 活動に表彰が行われたということを紹介させていただきました。